

新たに導入する自動操舵トラクターの導入効果を最大化するため、枕地を確保することで旋回効率が向上。栽培管理システムから得られたセンシングデータを隣接農家、普及センターと共有・分析し、データに基づく肥培管理や適期防除を行う。

経営上の課題

- ・周辺の農業者の離農等により、経営面積が拡大している。
- ・経営面積の増加と気象条件の変化に伴い、適切な時期に効率的に作業する必要がある。

スマート農業技術を活用した作業の効率化とデータ活用に基づく栽培管理への転換が急務

申請者：

馬渡 智昭（北海道大空町）

対象品目：

小麦、大豆、てん菜

スマート農業技術：

自動操舵トラクター
栽培管理システムによるリモートセンシングデータの活用

新たな生産方式：

枕地の導入による自動操舵トラクターの作業効率向上
栽培管理システムから得られたデータの共有・分析

活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

計画の概要

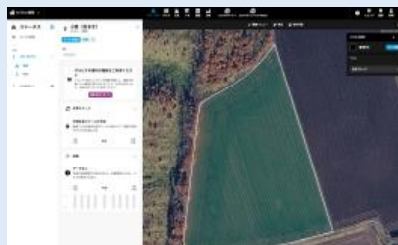
スマート農業技術

自動操舵トラクタ



自動操舵トラクタによる
心土破碎、耕起、整地作業

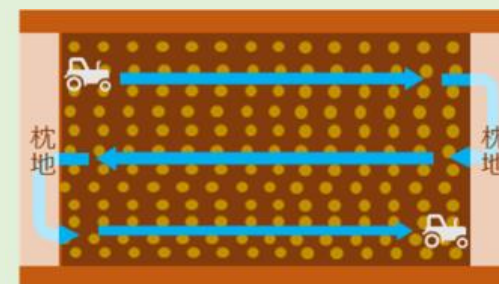
栽培管理システム



栽培管理システムによる
生育状況等のデータの活用

新たな生産方式

枕地の導入



機械の大型化に伴い、枕地を
拡大することで、旋回効率が
向上し、労働投入量が減少

データの共有・分析

栽培管理システムから得られたデータ
を近隣農家、普及センターと共有・分
析し、データに基づく肥培管理や適期
防除を行う